

12/17 金

在留資格のない外国人は、就労を禁
止され、生活保護の利用や健康保険の
加入さえできません。全日本民主医療
機関連合会（全日本医連）が行った
調査では、医療機関が医療費を負担し
ている事例が数多く寄せられました。
外国人医療に関する公的な保障を求める
声が広がっています。（新井水和）

命の保障ほしい

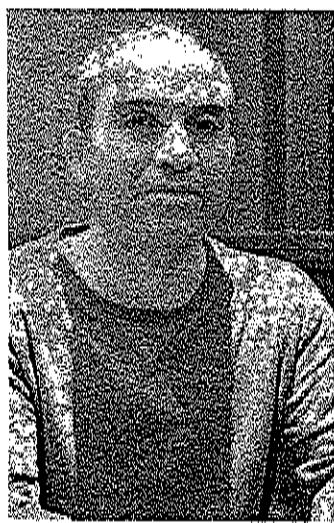
「救急医療を行つる病院で
は、年間数百万円単位の未
収を抱えているのではないか
か」と語るのは、埼玉協同
病院（埼玉県川口市）で働く
社会福祉士の竹本耕造さ
ん。同病院の2020年度
の医療費未払い件数は約80
件。金額で1100万円に
上ります。

透析中断し搬送

あるアフリカ出身者は醫
不全のため大学病院で透析
をしていましたが、在留超
過で在留資格がなくなりま
した。数百万円もの医療費
が未払いで治療を継続でき
なくなりました。

埼玉協同病院に救急搬送
され透析を継続。受診回数、
同病院は大使館や行政、支

在留資格ない外国人悲鳴



「存在を認めてほしい」と語るベヘザードさん

援団体などもまことに
お話をしました。しかし
して、有効な手だとは見つか
らず、全て医療院が負担し
ました。多くの日本人が、國の
入国管理局行政が厳しく、生
活の糧や医療を受ける手段
を奪つてくる」とじつは
この方が実情です。同病院が
この人に行った治療費のう
ち600万円ほどが未収入
となっています。

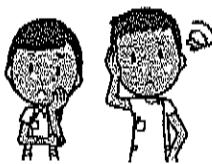
竹本さんは「治療を断れ
いて、税金を払い、健康保
険の事業を申請したもの
の患者の症状や受診状況で適
用外となる部分のほうがあ
る」と語ります。

普通の暮らしを

「ただで医療を受けたい
わけじゃない。一生懸命働
いて、税金を払い、健康保
険の事業を申請したもの
の患者の症状や受診状況で適
用外となる部分のほうがあ
る」と語ります。

日本語を話せたので、支
援団体につながることがで
きました。「私は運がよか
った。多くの人は、より
助けを求めればいいかわ
らない。体調が悪くなっ
たり、痛みがあったりして
も、お金がないから我慢を
するしかない」と話しま
す。

新型コロナ感染症の影響
で、入管施設への収容を一
時的に解く「仮放免」が増え
ました。「収容されなくな
っても働き、お金がない
から全然自由じゃない」と
ベヘザードさん。「日本は
私たちの存在を認めてくれ
ない。一番は、普通に暮の
したい。それがだめなら、
医療だけでも、命だけでも
保障をします」と訴え
ます。



全日本医連の調査に
寄せられた声

- ・慢性疾患の患者の継続的な受診にどこまで支援できるかが課題
- ・入院ケースがあり、300万円近く持ち出しになる予定
- ・患者さんには医療が必要だが、事業所にも限界があるため、気持ちの葛藤がある
- ・難民申請中で仮放免の外国人が受診し、全額病院負担となっている。國の補助金を
- ・医療費の回収に対し、活用できる制度がない